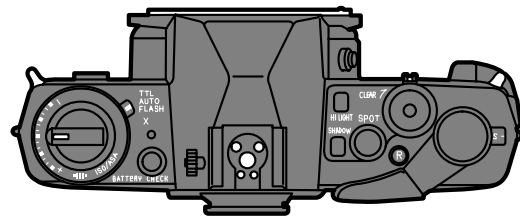
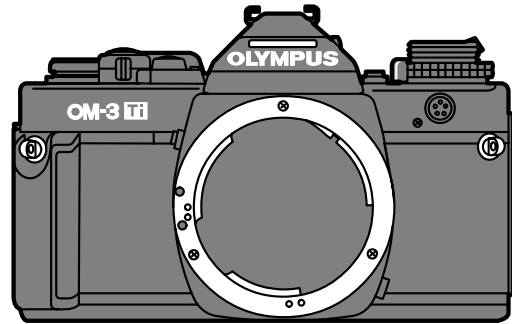


OLYMPUS OM-3Ti

スペック	
シャッター	1/2000～1秒・B（機械シャッター）
X接点	1/60秒
測光方式	中央部重点平均測光 / スポット測光
撮影モード	マニュアル
サイズ	136.0 × 84.0 × 50.0mm
重量	510g
発売年	1994年
新品価格	200,000
中古相場	90,000～130,000
備考	専用ストロボ使用時、1/2000秒までフラッシュ撮影可能。 ボディ外装はチタニウム。 ファインダー視野率97% ファインダー倍率0.84倍



ダイヤル部

ダイヤルはマウント基部に配置されている

初めて手にしたときの印象は、「案外貧弱なボディーだな」という印象だった。それは、AFカメラを見慣れた目で見た印象であり、「貧弱」というのはそれだけコンパクトさが劇的であることを物語っている。丁度、暖かい季節になってコートを着なくなった時のように、身軽さというのは頼りなく感じるものなのだ。しかし、チタンボディとメカニカルシャッターを備えたこのカメラには、その心配は無用である。同じ厚さの金属を使った場合、体積の小さな物体のほうが物理的には頑丈だということを思い出して欲しい。

シャッターダイヤルは、一般的な軍艦部の位置には無く、オリンパス伝統のマウント基部にある。オリンパスの説明によると、絞り環とシャッターダイヤルが同じ位置に並んでいるので、操作が効率的であるとされている。しかし、やはりこれは慣れの問題だろう。古くからのオリンパスユーザー（またはニコマートFTシリーズユーザー）には間違いなく使いやすいことだろう。

また、X接点は1/60秒とかなり遅いのだが、専用フラッシュを使うと1/2000秒ものシンクロが可能となる。これだけでオリンパスを選ぶ人間もいるに違いない。

ちなみに、このOM-3Tiは、以前生産が打ち切られたOM-3のリバイバル版だ。